

Meruhaya ver.1.0

説明書



Meruhaya ver.1.0
meruhaya@mail.goo.ne.jp
Copyright © 2009 Kenichi Nomura

はじめに

1 動作環境

お使いになれるサーバーが下記の要件を満たしているかご確認下さい。下記の要件を満たしている場合でも動作を保証するものではありません。

- * UNIX 系のサーバー
- * Perl ver.5 ~ 以上がインストールされている。
- * sendmail が使用できる。

Perl について、モジュール jcode.pm が利用できる環境で、jcode.pm がインストールされている場合は、文字コードが utf-8 の読者データ(メールマガジン購読者データ)を取り込むことができます。

ウェブ上のメールマガジンへのアクセスは、Perl の crypt 関数で暗号化したパスワードのベーシック認証を使用します。

インターネットブラウザでは JavaScript を使用します。

注 Mac での動作の確認はしておりません。

メールマガジンの配信速度はお使いになれるサーバーの環境によって異なります。

2 動作概要

メルハヤは、ウェブ上でメールマガジンの編集、配信、配信リスト追加・削除等をおこなうソフトです。読者データが数万～数 10 万に及んだ場合での安定した配信、かなり容量の大きい読者データのスムーズな取り込みを考慮し制作しました。

- * メールマガジン配信
テスト配信・一括配信・分割配信(一回のメールマガジンの配信を数日に分けて実行することもできます。)
- * 読者の追加・削除
読者の追加の際の、重複のチェックとメールアドレスの文字列チェック。

管理者は、CSV 形式の読者データの追加と削除によって読者データを簡単に管理できます。また、ウェブ上で第三者がアクセスし読者登録・解除するページのデザインの編集ができます。

* バックナンバーの閲覧

配信済みメールマガジンの保存・閲覧と数の調整ができます。

バックナンバー数が 100 になるとバックナンバーは書庫として保存されます。

3 試用版について

ライセンスキーの入力、認証がない間は試用版として動作します。

一つのメールマガジン発行終了後、全ての読者データはリセットされます。

取り込むことができる CSV 形式の読者データの容量制限。

第三者がアクセスする読者登録ページ・読者解除ページのデザインの編集は保存できません。

4 ご利用規定

メルハヤは、シェアウェアです。試用版をお使いになっていただいた後、引き続いてご利用される場合は、シェアウェア料金をお支払い下さい。シェアウェア料金をお支払いいただきますと、ライセンスキーを記載したメールを届けします。ライセンスキーが認証されますと、正規版としてお使いいただけます。シェアウェア料金、決済方法、サポートについては別紙の正規版のご利用方法を御覧下さい。

設置

1 ファイルの確認

ダウンロードされたフォルダ meruhaya_1_0 を解凍ソフト等で解凍(展開)されますとフォルダ resume(説明書等が入っています。下記に記していません。)とフォルダ mailmagazine の下に以下のようにフォルダ(以後ディレクトリーと呼ぶ)とファイルが展開されますのでご確認下さい。ディレクトリーは ■ で表示。()内はパーミッションを示しています。* は cgi ファイルを示しています。

```

mailmagazine --- crt.cgi (705) *
              --- index.html (604)
              |
              admin ---- add_usr.cgi (705) *
                        ---- del_usr.cgi (705) *
                        ---- dwr.cgi (705) *
                        ---- fgr.cgi (705) *
                        ---- index.cgi (705) *
                        ---- jtn.cgi (705)*
                        ---- rdy.cgi (705) *
                        ---- upload.cgi (705) *
                        ---- jcode.pl (604)
                        ---- mimew.pl (604)
                        ---- .htaccess (604)
              |
              ---- html ---- index.html (604)
                        ---- add_usr.html (604)
                        ---- add_usr_2.html (604)
                        ---- chk.cgi (705)*
                        ---- chk_dbl.cgi (705) *
                        ---- dsgn.cgi (705) *
                        ---- hd.cgi (705) *
              |
              ---- bck ---- bk_num.dat (604)
                        ---- data.dat (604)
                        ---- mz_snd.dat (604)
                        ---- .htaccess (604)
              |
              ---- data ---- .htaccess (604)
              |
              ---- data ---- data.dat (604)
                        ---- .htaccess (604)
              |
              ---- vfy ---- vfy.dat (604)
                        ---- .htaccess (604)
              |

```

```

        ----- lc ----- data.dat (604)
                ----- data_2.dat (604)
                ----- .htaccess (604)
|
---- del ---- data.dat (604)
        ---- data_2.dat (604)
        ---- .htaccess (604)
|
---- rcd ---- data.dat (604)
        ---- .htaccess (604)
|
        ---- data ---- chk_0.dat (604)
                ---- .htaccess (604)
|
---- rgt ---- drg.dat (604)
        ---- .htaccess (604)
|
        ---- data ---- lmt.d.dat (604)
                ---- nmbr.dat (604)
                ---- .htaccess (604)
|
---- temp ---- f_nmbr.dat (604)
        ---- mgn.dat (604)
        ---- per_fgr.dat (604)
        ---- r_check.dat (604)
        ---- rcd.dat (604)
        ---- snd.dat (604)
        ---- .htaccess (604)
|
        ---- data ---- del.dat (604)
                ---- .htaccess (604)
|
        ---- cp ----- index.html(604)
|
f_user ---- del.cgi (705) *
        ---- rgt.cgi (705) *

```

```

      ---- .htaccess (604)
|
html ---- index.html(604)
      ---- del.cgi (705) *
      ---- rf.cgi (705) *
      ---- rgt.cgi (705) *
|
      ---- data ---- index.html (604)
|
          ---- dl ---- css.dat (604)
                  ---- ftr.dat (604)
                  ---- header.dat (604)
                  ---- .htaccess (604)
|
          ---- rgt ---- css.dat (604)
                  --- ftr.dat (604)
                  --- header.dat (604)
                  --- .htaccess (604)
|
          ---- tmp ---- css.dat (604)
                  --- ftr.dat (604)
                  --- header.dat (604)
                  --- .htaccess (604)
|
img ---- index.html (604)
      ---- f_bck.gif (604)
      ---- f_btn.gif (604)
      ---- ftr.jpg (604)
      ---- hd.jpg (604)
      ---- td.jpg (604)
      ---- td_f.jpg (604)
      ---- td_s.jpg (604)

```

2 Perlのパス sendmailのパスのチェック

お使いになられるサーバーの設定に従ってPerlのパスを書き換えます。

*で記されたファイル(拡張子がcgiのファイル)をメモ帳等のテキストエディタで開きます。

各ファイルの一行目は、現在下記のようにになっています。

```
#!/usr/local/bin/perl
```

これをお使いになられるサーバーの設定に従って書き換え保存します。

(例) `#!/usr/bin/perl`

お使いになられるサーバーの設定に従ってsendmailのパスを書き換えます。

ファイルdwr.cgiの15、16行目は現在下記のようにになっています。

```
#=sendmailのパス=====
```

```
$sendmail = '/usr/sbin/sendmail';
```

16行目の `/usr/sbin/sendmail` をお使いになられるサーバーの設定に従って書き換え保存します。

(例) `/usr/lib/sendmail`

注 下記のcgi ファイル

[jtn.cgi](#)

[rdy.cgi](#)

[upload.cgi](#)

[dsgn.cgi](#)

は一行目の perlのパスが記述されている箇所以外は変更しないで下さい。

下線で記したファイル lmttd.dat snd.dat について

Perlについて知識があり、おわかりになる場合は、必要に応じて設定値を変更できます。設定値が極端に高くなると、タイムアウトエラーを引き起こし途中で停止してしまいます。(設定値分の処理の指定数のリロードによって負担を軽減しています。)また、サーバーへの負担は高くなります。通常は、変更しないで下さい。

lmttd.dat一つのファイルに保存される上限読者データ数

当初の設定値 100

snd.dat 一つの配信用ファイルに保存される上限読者データ数

当初の設定値 30

ファイルは、お使いになられるサーバーの設定(perlのパス、sendmailのパス等)以外は、変更せずそのままお使い下さい。

3 サーバーへ設置

ディレクトリー mailmagazine は名前の変更ができます、その他のディレクトリーやファイルの名前は変更できません。1 ファイルの確認でご確認されたディレクトリー mailmagazine(名前を変更できます。)をmailmagazine(名前を変更できます。)下にある全てのディレクトリー、ファイルごと cgiが動作するサーバーのディレクトリーへアップロードします。サーバーへアップロードされたディレクトリーは全てパーミッションを705に設定、ファイルは1 ファイルの確認で各ファイルの横に記載されているパーミッションに設定します。

注 パーミッションはお使いになられるサーバーで設定が異なる場合は、ご確認下さい。例 705 => 755 例 604 => 644

4 ユーザー名とパスワードの設定

管理画面へのログインユーザー名、パスワードを設定します。

(例) メールマガジンが下記のアドレスに設置されている場合

<http://www.myhomepage.inc/mailmagazine/>

<http://www.myhomepage.inc/mailmagazine/crt.cgi> へアクセス

お使いになるユーザー名とパスワードを作成します。

ユーザー名とパスワードを設定されますとファイル

crt.cgiは削除されます。

使ってみよう

(図 ~)は show.html でご確認ください。

メールマガジンの管理画面へのアクセス (図 1-a)

(例) <http://www.myhomepage.inc/mailmagazine/admin/>

へアクセス。ユーザー名 パスワードを入力します。

試用版でご利用されている場合は、ライセンスキーを登録されて正規版を利用
れるか、引き続いて試用版をご利用されるかを選択して下さい。(図 1-b)

1 初期設定

初期設定(図 2-a)

メールマガジンの送信元の名称

メールマガジンの送信元のメールアドレスを設定します。

(例) 株式会社マイホームページ

(例) info@myhomepage.inc

メールマガジンでは、(株)、等、省略表記された文字、cm、kg等の単位記
号、等のローマ数字、等の数字等、また半角カタカナは文字化けの原
因となりますので使用しないで下さい。

デザイン編集(図 2-b)

読者登録ページの編集

管理者だけでなくインターネット上で不特定多数の第三者がメールマガジンの
購読を申し込む(手動で読者登録)ページのデザインの編集。

読者解除ページの編集

管理者だけでなくメールマガジン購読者がアクセスし購読を解除する(手動で
読者解除)ページのデザインの編集。

読者登録ページ、読者解除ページのデザインは

1 ヘッダー部分

2 中央部分(説明書きや入力フォームのテーブルが設置。)

3 フッター部分で構成されています。

ヘッダー部分とフッター部分は HTML で編集します。ヘッダー部分は例えばロゴの貼り付け等、フッター部分は、Copyright (C) myhomepage corporation all rights reserved.の記入等自由に編集できます。(HTML について簡単な記述例を記載しています。)

中央部分はページの中央に位置する部分で、名前・会社名等の名称やメールアドレスを入力するフォームが設置されています。また、説明文や購読解除(申し込み)ページへのリンク文字が記述されています。

テーブルの横幅や文字のサイズ・位置などは全て数字で指定します。テーブルのカラーや文字のカラーは、メニューから選択することができます。

2 メールマガジン編集

メールマガジン編集(図 3)

配信しようとするメールマガジンを制作します。

(既に製作されたメールマガジンがある場合は上書きされます。)

メールマガジンの構成

メールマガジンの名称・・・メールマガジンの題名を記入します。

(例) 第一回株式会社マイホームページメールマガジン

メールマガジンのヘッダー・・・メールの内容の先頭部分。あいさつ文等を記入。

(例) 日頃は、株式会社マイホームページをご利用くださり誠に有り難うございます。

メールマガジンの本文・・・今回のメールマガジンの中心の内容部分。

メールマガジンのフッター・・・メールの末尾部分です。

(例) メールマガジン配信元の住所、ホームページアドレス等を記入します。また、メールマガジンの購読解除申し込みページへのリンクを記入。

3 メールマガジン発行

メールマガジンは、読者に配信する前にテスト配信を実施して下さい。編集(図 4-a) テスト配信では、配信元にメールマガジンが配信されます。

分割配信(図 4-b)

メールマガジン読者数が数万～数10万等の場合や、使用しているサーバーに規制があり一括で配信が禁止されている場合等に使用されると便利です。一回のメールマガジンの発行について分割配信を実行した場合、未配信読者データを保存して終了することができますので、一回のメールマガジンの発行を日数をかけて実行することもできます。

未配信読者データを残し終了した場合には、図5のように表示されますので、前回の未配信配信を選択して下さい。

一括配信(図4-c)

一括配信は全ての読者へ一回で配信されます。配信は途中で中止することができません。

注 新規のメールマガジンの配信について、分割配信の途中終了による未配信読者データが保存されている場合(図5)は、新規のメールマガジンの配信が実行されると、分割配信の途中終了による未配信読者データは削除されます。

配信実行中、配信に失敗した読者データは、配信終了後、再度配信(再配信)を実行することができます。

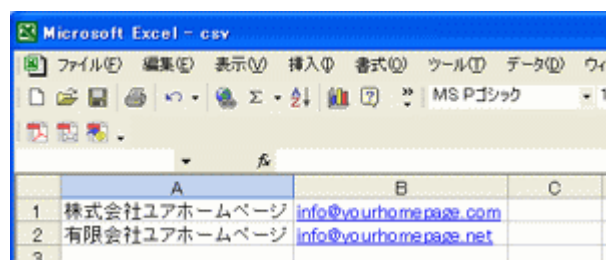
4 読者登録

読者登録は CSVファイルを取り込む方法と 手動で読者登録する方法があります。

CSVファイルを取り込む(図6-a)

エクセル等でカンマ区切りで保存されているデータを取り込みます。

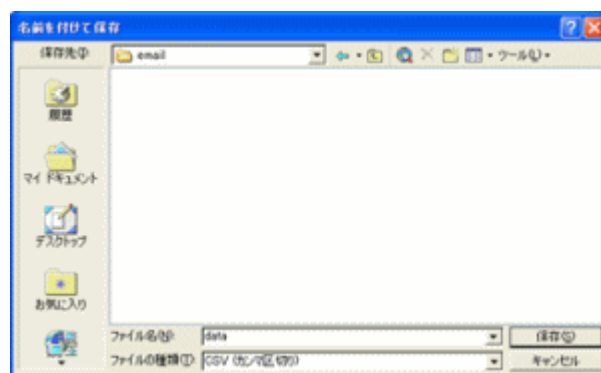
(例) 読者データがエクセルに保存されている場合



The screenshot shows a Microsoft Excel window titled 'Microsoft Excel - csv'. The menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '表示(V)', '挿入(I)', '書式(O)', 'ツール(T)', 'データ(D)', and 'ウィンドウ(W)'. The toolbar contains various icons for file operations and editing. The spreadsheet has three columns labeled A, B, and C. The first two rows contain data:

	A	B	C
1	株式会社ユアホームページ	info@yourhomepage.com	
2	有限会社ユアホームページ	info@yourhomepage.net	
3			

* 1列目(A)に名前や会社名等の名称、2列目(B)にメールアドレスが記入されています。



* CSV(カンマ区切り)を選択して保存します。

既にCSV(カンマ区切り)で保存されているデータがある場合はメモ帳等のテキストエディタで編集してから取り込んで下さい。CSV(カンマ区切り)形式のファイルを取り込む際には、画面上(図7)に取り込むことができる文字コードの種類が記載されていますので、必ず、取り込むCSV(カンマ区切り)形式のファイルの文字コードをチェックして下さい。

注 取り込むことができる文字コードの種類に記載されていない文字コードのファイルを取り込むと文字化けを起こします。

手動で読者登録(図6-b)

個別に読者登録をする場合、登録する読者の名前や会社名等の名称とメールアドレスを記入します(手動で読者登録)。

このページは第三者がアクセス可能なページです。

5 読者解除

読者解除も読者登録と同じように CSVファイルを取り込む方法と 手動で読者解除する方法があります。

使用方法是読者登録と同じですので読者登録を参照して下さい。

6 バックナンバー

配信済みのメールマガジン(バックナンバー)(図 8-a)の閲覧ができます。

バックナンバー数は数量ベース、時間ベースで調整できます。

バックナンバー数は 100 になると書庫へ移動します。

7 書庫

バックナンバー数は 100 になると書庫(図 8-b)へ移動します。

書庫数は数量ベースで調整できます。

8 エラー表示画面について

図 9 のようなページが表示された場合、戻る リンク文字がない場合はお使いになられているブラウザの 戻る で前画面に戻って作業をすすめて下さい。

注 下記のエラーについて

認証できません。

認証コードが変更されています。

は、前述の `jtn.cgi rdy.cgi upload.cgi dsgn.cgi` のファイルの記述が変更されているか、ディレクトリー`lc`下のファイル `data.dat` または `data_2.dat` が変更されたり削除されている場合、表示されます。ライセンスキーの認証後も、同様です。このような場合は、当初のファイルをお使いになられているサーバーへアップロードされファイルを上書きして下さい。

サポート

設置方法、設置後のご質問等、サポート全般は下記のウェブサイトをご利用下さい。

<http://www5.ocn.ne.jp/~meruhaya/>

付記

日本語文字コードの変換に歌代和正氏が作成された jcode.pl を使用しています。
生田昇氏が作成された mimew.pl を使用しています。

Meruhaya ver.1.0
meruhaya@mail.goo.ne.jp
Copyright © 2009 Kenichi Nomura

